

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、和歌山県、奈良県全域とする。

2 添削指導の方法

・自宅学習期間の質問方法

質問は電話、FAX、メールまたは来校できる場合は面談による。

添削担当講師：堀川茂野(科目によっては担当講師に引き継ぐ)

電話番号 06-6329-6553 (受付時間 平日午前9時～午後5時)

ファックス番号 06-6321-0861

メールアドレス horikawa@kamei.ac.jp

〒533-0015 大阪市東淀川区大隅1-1-25 学校法人 瓶井学園

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5 時間	5 時間
(3) 介護の基本	3 時間	3 時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5 時間	7.5 時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3 時間	3 時間
(6) 老化の理解	3 時間	3 時間
(7) 認知症の理解	3 時間	3 時間
(8) 障がいの理解	1.5 時間	1.5 時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12 時間	12 時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

(1) 学習課題の配付

添削課題は4回に分けて配付する。

1回目の配付は開講式の日到手渡す。第2回目の配付は、1回目の配付から1週間後に郵便で配付する。第3回目、第4回目も同様の日程とする。

(2) 学習課題の提出標準日程

課題の提出は、課題配付後2週間以内とする。

提出方法は、郵送又は直接手渡しによる。

5 通信学習課題

- ① 課題異種類数 1種類
- ② 出題形式 全問記述式
- ③ 出題数 計20問

(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	2問
(3) 介護の基本	2問
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	3問
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	2問
(6) 老化の理解	2問
(7) 認知症の理解	2問
(8) 障がいの理解	3問
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	4問

6 評価基準

全科目60点以上を「合格」とする。

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、別途添削問題を配付する。

なを、再提出日は発送から起算して10日以内とする。

7 通信添削業務受託事業者

- (1)

自社で実施する。
